

地域の方や医療・介護関係の方をお招きして、港区の認知症に関する課題の把握や、港区で取り組んでいる事業の協議を行うため、第2回認知症専門部会を開催いたしました。（平成28年度は全4回開催予定）

開催日時

平成28年9月8日（木曜日） 午後2時から午後3時30分まで

議題の概要

1 港区の認知症に関する地域課題等の共有及び協議

第1回部会にて依頼をした「事前アンケート」を集約し、港区の地域課題の共有と協議を行った。協議に先立ち、28年度の目標を以下のように設定した。

【協議の方向性（28年度）】

各委員から課題の説明後、協議をしていただき、各課題を以下の①～③の区分のいずれかに整理する。

① 現行の制度・サービスで解決可能な課題である。

（①では解決できない場合）

② 港区として新たに対応すべき課題である。

（例）認知症専門部会の事業として実施。他機関への働きかけ。

③ 市・県・国が統一的・制度的に解決すべき課題である。（港区として要望すべき課題。）

※ 今年度の部会（第2回～第4回）にて、上記整理を行い、②に整理した課題がある場合は、その具体的対応方法について、29年度の認知症専門部会にて、課題の優先順位をつけ、協議を行う。

第2回部会においては、「事前アンケート」の中から、以下の3事項について課題の協議を行った。

【課題事項】

(1)認知症サポーターを広げるため、いきいき支援センターから消防署や警察、小・中学校に養成研修の依頼をするが、実現に至らない。

(2)集合住宅で認知症の方が多く暮らしているところでは、自治会長や民生委員の負担が大きくなっている。

(3)いきいき支援センターから、虐待対応や独居高齢者の救急のため、病院に連携を求めるが、個人情報の制約があり、連携が取りづらい。

※協議の結果は、今年度の部会終了後に、まとめて報告する予定です。

- 2 平成28年度 認知症専門部会事業の進捗管理及び協議
以下の事項について協議を行った。

【協議事項】

- 認知症市民講演会について
- 認知症サポーターのフォローアップ研修について
- はいかい高齢者おかえり支援事業 模擬訓練について

- 3 その他

第3回部会は、地域課題の協議を引き続き実施するとともに、平成29年度認知症専門部会の事業計画についても協議を開始することを決定した。